

## 実績概要 (ホームページ掲載用)

研究又は活動のテーマ	地域活性化のための景観・まちづくり整備について ～ガーデンツーリズム「宮崎花旅365」の全県展開～
助成事業者	(一財) 日本造園修景協会宮崎県支部
代表者	支部長 黒田 博司
<p>(目的)</p> <p>岩切章太郎氏の「大地に絵を描く」「自然の美・人工の美・人情の美」の理念のもと、本県は「全県公園化」や「沿道修景」など豊かな自然を生かした景観づくりに取り組んできた結果、全国に誇れるグリーンインフラを有している。</p> <p>一方、それを支える予算や人材に限りのある中で、今後そのストック効果を継続的に発揮させることはもちろん、本県の『「新しい」ゆたかさ』の実現に向け、グリーンインフラの新しい価値や魅力を創造していくことが求められている。</p> <p>このような中で、先人達が残したグリーンインフラやこれまでの取組が評価され、国土交通省が提唱する複数の庭園の連携により魅力的な体験や交流を創出するガーデンツーリズム登録制度に「宮崎花旅365」(宮崎市)が西日本で唯一選ばれた。この登録は本県の魅力を国内外にPRする絶好のチャンスである。</p> <p>本研究は、宮崎県のメインストリート「高千穂通り」をモデルケースに、「まちなか」と「自然」が持続可能で調和したナチュラルスティックな植栽や、通り沿いの企業や住民に親しまれるコミュニティガーデンの新しいあり方に関する研究を通じて、地域活性化につながる景観・まちづくりに挑戦する</p>	
<p>(概要)</p> <p>多年草を主体とした試験植栽(R2～)の景観や生育状況等について、豊富な知見を有する「宮崎花旅365」構成庭園のガーデナーの指導のもと、ボランティア主体の月2回の定期的な植栽管理や観察など実験的な検証を行った。また、高千穂通り社会実験(県・市主催)の一環で実施されている「街中ピクニック」への出展(タネだんごづくり体験)や試験植栽地のライトアップに取り組んだほか、今年度で3回目となった植栽イベント「みんなで宮崎ガーデンつくろうよin高千穂通り」を多くの参加者(約60名(高千穂通り参加企業7社))のもとで開催した。</p> <p>3年間の試験植栽やボランティア活動の実践を通じて、持続可能な植栽メンテナンスに関する様々なノウハウを得るとともに課題について把握することができた。</p> <p>アンケート結果や通り沿いの企業や住民の声では、本研究に関して一定の理解や評価を得ることができたことから、今後も本研究の成果をベースに居心地がよく歩きたくなる高千穂通りを目指し、『植物』を通じて『街』と『人・コミュニティ』をつなぐ取組を継続し、将来は本研究をモデルケースに全県展開を目指したい。</p>	